

第45回東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究大会 岐阜大会 第34回岐阜県特別支援教育研究部会 県大会西濃大会のご案内（最終）

大会主題

子どもから学び 子どもと共に歩む ことば・きこえ・はったつ教室をめざして

標記の大会を下記のように開催いたします。言語・聴覚・発達障害児教育の充実のため、多数のご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

平成29年 5月

東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究大会岐阜大会
実行委員長 鷺見 隆司（垂井町立東小学校長）

1 趣 旨

特別支援教育についての教育的ニーズは、年々高まり続けており、この東海ブロックでも「ことば」「きこえ」「はったつ」等に関して、専門的な指導を必要とする子どもたちの数が増加しています。新たに担当することになった先生も多く、経験年数の多い先生もこれまで以上に多様なニーズに応えることが求められています。子どもが10人いれば、10通りの指導があります。一人一人の課題を多面的に捉え、授業に生かしていくことは容易なことではありません。基本的な理論を学ぶとともに、一人一人の子どもの実態に合わせて、何を、どのように指導すると良いのかを考えるとところに特別支援教育の難しさがあります。

しかし、それこそが特別支援教育の醍醐味であると捉え、地道に子どもたち一人一人の姿や言葉から学び、子どもと共に実践を積み重ねていくことを大切にしたいと考え、大会主題を設定しました。

各分野の専門家である講師の先生方から確かな理論を直に学び、今現在、自分が担当している一人一人の子どもへの指導を見つめ直すとともに、東海四県の先生方が子どもと共に歩んだ実践から学び、明日の授業につながる指導の在り方を考えていきます。

2 期 日 平成29年8月18日（金） 10:00～16:00

3 会 場 大垣市スイトピアセンター（大垣市室本町5丁目51）

4 参加者 教育関係者・保護者・特別支援教育に関心のある方

5 参加費 3,000円（保護者・学生 1,000円）

6 主 催 東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究会
岐阜県言語・聴覚・発達障害児教育研究会
岐阜県特別支援教育研究部会
静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会
愛知県言語・聴覚障害児教育研究会
三重県言語・聴覚・発達障がい研究会

7 後 援 岐阜県教育委員会 全国公立学校難聴・言語障害児教育研究協議会
大垣市教育委員会 海津市教育委員会 養老町教育委員会
垂井町教育委員会 関ヶ原町教育委員会 神戸町教育委員会
輪之内町教育委員会 安八町教育委員会 揖斐川町教育委員会
大野町教育委員会 池田町教育委員会
中日新聞社、中日新聞社会事業団 公益財団法人岐阜県教育公務員弘済会
一般財団法人岐阜県教職員互助会 岐阜県特別支援学級設置校校長会
公益財団法人伊藤青少年育成奨学会 岐阜県障害幼児研究会
岐阜県心身障害児研究会 岐阜県言語障害児をもつ親の会
西濃地区手をつなぐ育成会

8 日程

9:30 10:00 10:30 11:50 13:30 16:00

受付	全体会	講演	昼食 分科会打ち合わせ 四県事務局連絡会議	分科会
----	-----	----	-----------------------------	-----

9 講演

演題 **「ことばというやり取りを通じた支援」**
 講師 **小栗 正幸 さん** (特別支援教育ネット代表・宇部フロンティア大学臨床教授)
 ※要約筆記、手話通訳があります。

10 分科会

第1分科会「発音に誤りのある子ども」

■助言者 **西田 立郎さん** (埼玉県白岡市立篠津小学校)

	提案者	テーマ	内容
三重	渡瀬 由紀子さん 四日市市立 桜小学校	その子にあった構音指導をさぐる ～体へのアプローチからの スタート～	通級担当になり、3年目に出会った A。A には、これまで自分が行ってきた構音指導が思うようにできなかった。どうすればいいか悩み考えていく中で、「体の準備」ができていないと感じ、体へのアプローチを始めることにした。
愛知	平井 香代子さん 名古屋市立 東桜小学校	構音に誤りがある A 児への指導	「もう一度言って。」と言い直しを求められると話せなくなってしまふ A 児。自信をもって、周りの人と豊かに話ができるようにと願い、力行音の構音獲得に向けて取り組んだ実践を中心に報告する。

第2分科会「ことばの育ちがゆっくりな子ども」

■助言者 **安田 和夫さん** (岐阜聖徳学園大学)

	提案者	テーマ	内容
愛知	穂積 亜希さん 江南市立 藤里小学校	自分の思いや気持ちを伝えてみよう ～Aさんの授業実践を通して～	自分の気持ちを伝えることが苦手な A さんに対して、主にコミュニケーションの力を高めることを目標として実践を行ってきた。実践を通して、A さんがどのような姿を見せてくれるようになってきたのか報告する。
岐阜	竹中 明秀さん 高山市立 山王小学校	なりたい姿をイメージして、自ら学び、自ら挑戦し、できたと感じられる活動をめざして ～自分から音読を向上させようとする自立活動～	児童の中に音読でつまづく児童がいた。その要因を「発音の不明瞭さ」「読み急ぎ」「追視のしにくさ」「ことばのまとまりの捉えにくさ」に求めて必要な手立てを講じ、児童が願いと見通しをもって、他者に向けて文章を読む活動に取り組んだ。

第3分科会「ことばがわかる子ども」

■助言者 **牧野 泰美さん** (国立特別支援教育総合研究所)

	提案者	テーマ	内容
三重	上田 幸枝さん 四日市市立 中部西小学校	吃音児の思いに寄り添って ～それでも 吃音をなおしたい～	吃音児の「思い」に焦点をあてた実践報告をもとに、ことばの教室における吃音児へのよりよいかかわり方について検討していく。また、保護者や在籍校との連携など、児童を取り巻く環境調整の大切さについて考える。
愛知	野田 弥生さん 小牧市立 村中小学校	吃音と向き合い、上手に付き合う	吃音のある小学校5年生の A 児についての実践。「吃音ワークブック(伊藤伸二著)」の内容を実践したり、「この地球にすんでいる僕の仲間たちへ(東田直樹著)」を読んだりするグループワークを通して、吃音について学習し、どのように付き合うかを考えていく様子を紹介する。

第4分科会「きこえに心配のある子ども」

■助言者 岩田 吉生さん（愛知教育大学）

	提案者	テーマ	内容
三重	津田 明美さん 名張市立 美旗小学校	A児とともに ～美旗小学校難聴通級指導教室 を担当して～	6年間の通級で、難聴児A児の困り感に目を向け、その特性に応じた支援や指導を目指して実践し、保護者、在籍校担任、外部機関との連携を大切にしてきた本校通級指導教室の取り組みについて報告する。
静岡	池上 元子さん 静岡県立 静岡聴覚特別支援学校	聴覚特別支援学校の 通級指導教室における 在籍校支援 ～雑音負荷下での語音聴力検査 を通した実践～	通級生自身の、聞こえにくさを補おうとする意欲や態度を高めることや、学習環境を整備する在籍校への理解啓発を目的に、通級生に雑音負荷下での語音聴力検査を行い、コミュニケーションの不自由度を客観的に評価し、その結果を活用した実践について報告する。

第5分科会「コミュニケーションが苦手な子ども」

■助言者 小栗 正幸さん（特別支援教育ネット代表・宇部フロンティア大学）

	提案者	テーマ	内容
静岡	南谷 由香さん 浜松市立 赤佐小学校	コミュニケーションを育て る指導 ～コミュニケーション指導に有効な 教材について～	コミュニケーションが苦手と一口に言っても、それぞれの困り感にはいくつかのタイプがあると思われる。それぞれの困り感に応じた通級指導教室での指導の仕方を、教材を基にして報告する。
岐阜	小川 彩美さん 美濃加茂市立 古井小学校	自己理解・自己表現 ができる子の育成 ～社会性を育てるための「個別・ペア・小集団指導」の工夫～	個別やペア学習で自己理解と他者理解を図り、人とかかわる力を高めることを目的とした小集団活動を年7回行った。個の教育的ニーズに応じた指導・支援とスモールステップを積み重ねた児童の成長の様子について紹介する。

第6分科会「つながり」

■助言者 近藤 久美子さん（瑞浪市子ども発達支援センター）

	提案者	テーマ	内容
岐阜	大志万 玲子さん 岐阜県言語障害児 をもつ親の会	地域の中で育てていくと いうこと	「娘は地元の小学校の特別支援学級の4年生になりました。兄や双子の姉と共に通学路を歩いて通っています。この3年間泣いたり、怒ったり、走ったり、座り込んだり。その度に上級生の子どもたちに助けられ、支えられ、今日までできました。この3年間、支えてもらったのは、障がいのある娘ではなく、一緒に歩いてきた私だと実感する毎日です。」
静岡	望月 麻美さん 荒井 久美子さん 焼津市立 焼津南小学校	子どもとつなが り	通級、保護者会、在籍校、関係機関等、「つながり」ことで、子どもがどう変化していくのか。子どもの見取りを深めるために、誰と何をつないでいくのか。焼津南小学校通級指導教室の実践から考える。
三重	渡辺 忍さん 亀山市立 関小学校	通級指導教室の役割 とは ～通級指導教室と通常学級の連 携による連続した指導・支援体制 の整備～	亀山市における「教室で困っている児童」や「特別支援教育の必要な児童」に対する、支援者の連携した指導・支援システムの構築と、その連携をどのように活用して実践していったのかについて報告する。
愛知	市川 智恵子さん 豊田市立 高嶺小学校	求めることで「つながり」 ～担当児童生徒の進路を考 えることを通して～	難聴児の指導未経験、予備知識ゼロの自分。迷える中、聾学校通級担当者との連携と、巡り会えた機会を得て感じたこと、担当児童生徒の進路支援に際し、いろいろな立場を繋ぐ事が通級担当者の役割と実感した経緯を報告する。

11 大会事務局

〒500-8813 岐阜市明徳町11番地 岐阜市立明郷小学校 通級指導教室内
事務局長 木下裕史

TEL : 058-264-2289 FAX : 058-264-2280

E-Mail : meigou-kotoba@meigou-e.gifu-gif.ed.jp

1.2 参加申し込み方法

郵便局に備え付けの払込取扱票の通信欄に以下のことを明記して、**7月21日（金）**までにお振り込みください。振り込み手数料はご負担いただきますようお願いいたします。半券（郵便振替払込請求書兼受領証）が参加票となりますので、参加者が複数の場合でもお一人ずつお振り込みください。

なお、参加票は、資料と引き替えになりますので、当日必ずご持参ください。

口座記号番号	00830-7-198877
加入者名	東海四県 岐阜大会 実行委員会

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。	00830-7	加入者名
008307	口座記号 (右詰めで記入)	198877	加入者名
198877	口座番号 (右詰めで記入)	198877	加入者名
金額	千：百：十：万：千：百：十：円	金額	千：百：十：万：千：百：十：円
¥3000		¥3000	
加入者名	東海四県 岐阜大会 実行委員会	加入者名	東海四県 岐阜大会 実行委員会
金額	(保護者・学生は¥1000)	金額	
①県名	②所属 (保護者の方はお子さんの学校名)	おなまえ	〇〇県
③教職員 or 保護者 or 学生 or その他	④参加希望分科会	ご依頼人	岐阜 太郎
⑤手話通訳・要約筆記が必要な方はその旨お書きください。		日 附 印	
⑥託児が必要な方は、お子さんのお名前・年齢をお書きください。		料 金	
		備 考	
〇〇市〇〇町〇〇番地			
岐阜 太郎			
日 附 印			

※会場に余裕がある限り当日参加を受け付けますが、できる限り事前の申し込みをお願いします。

1.3 昼食について

会場での弁当の販売は行いません。各自でご準備いただくか、当日配布します「昼食マップ」を参考に昼食をお取りください。なお、会場には飲食ができる部屋を準備しておりますので、ご活用ください。

1.4 台風等接近による大会開催可否にかかわる緊急の連絡について

岐阜県言語・聴覚・発達障害児教育研究会のホームページに掲載しますので、当日、午前6時以降に各自でご確認いただきますようお願いいたします。<http://gifu-gengo-nancho-hattatsu.kenkyuukai.jp/about/>

1.5 会場案内

■公共交通機関使用の場合

○鉄道

- ・JR大垣駅南口から徒歩15分
- ・養老鉄道室駅から徒歩5分

○バス

- ・JR大垣駅南口4番のりばから発車の名阪近鉄バス「スイトピアセンター（若森車庫前）」行きに乗車、「スイトピアセンター」下車、徒歩2分

■自家用車使用の場合

- ・名神高速道路大垣インターチェンジから15分
- ・東海環状自動車道大垣西インターチェンジから5分

※会場に有料駐車場がございます。(200円) 立体駐車場400台、南駐車場75台駐車できます。

